

第15回市川市景観賞を受賞

『「佇美(たび)の家 市川市菅野三丁目景観協定区域」の街づくり』

ポラスグループ

ポラスガーデンヒルズ株式会社

ポラスグループ ポラスガーデンヒルズ(株)(本社:千葉県松戸市、代表取締役社長:坂倉 利昌)では、昨年市川市で開発・販売をした、戸建分譲住宅「佇美(たび)の家(全16棟)」が、第15回市川市景観賞(建築・まちなみ部門)を受賞しました。

市川市景観賞は、良好な景観の形成に寄与していると認められるものを表彰することにより、景観に対する市民意識の高揚を図ることを目的として、歴史的・文化的な建築物や街並みなど、市の良好な景観を募集し、表彰するものです。

応募部門は、1. 建築・まちなみ部門、2. 啓発部門、3. 緑化部門、4. 清掃部門、5. その他 があり、ポラスガーデンヒルズでは、建築・まちなみ部門で受賞しました。今回が、第11回、第12回に続き3度目の受賞となります。



■受賞理由

各住戸は石目調と木目調・チタンを組み合わせた素材感のあるデザインとし、寄棟屋根や高さを抑えたアクセントフレームを採用することで、限られた敷地においても圧迫感を感じさせない空間を創出している。通り沿いに設けた花台やベンチは住民同士のコミュニケーションのきっかけとなるほか、外灯が自動点灯する「灯かりのいえなみ協定」の締結により、街の防犯性向上だけでなく、良好な街並みの形成に寄与している。

ポラスガーデンヒルズ(株)は、ポラスグループの中で千葉県を中心に分譲住宅の開発、販売を行っています。景観に配慮した家づくりに注力しており、流山市が推進する「グリーンチェーン」を取得した分譲住宅「空居間の街」で第7回流山市景観賞(2021年)を受賞したほか、グッドデザイン賞も数多く受賞しており、2021年度は「空居間の街」、「唯・巧・居の家」「ボーダレスな家」の3点が受賞しています。

ポラスグループでは、今後も優れた街づくりを行い、良好な景観の形成を進めてまいりたいと考えております。

ポラスガーデンヒルズ(株) ホームページ

<https://www.polus.co.jp/articles/www.polus-gardenhills.com/>



ポラスガーデンヒルズ(株) 設計部
部長 松井 孝治(右)、課長 工藤 政希(左)

<概要>「佇美(たび)の家」

- 歴史的建造物が残り、緑も多い市川市菅野の地に相応しい風格と気品のある街並みを創出しました。(開発面積 2500 m²、計 16 邸)

各住戸は石目調と木目調・チタンを組み合わせた素材感のあるデザインを採用。周辺環境に合うよう

落ち着いた色彩計画としています。

屋根は寄棟とし、軒の裏には木目の表情が品よく顔をのぞかせるとともに立体感を生み出しています。



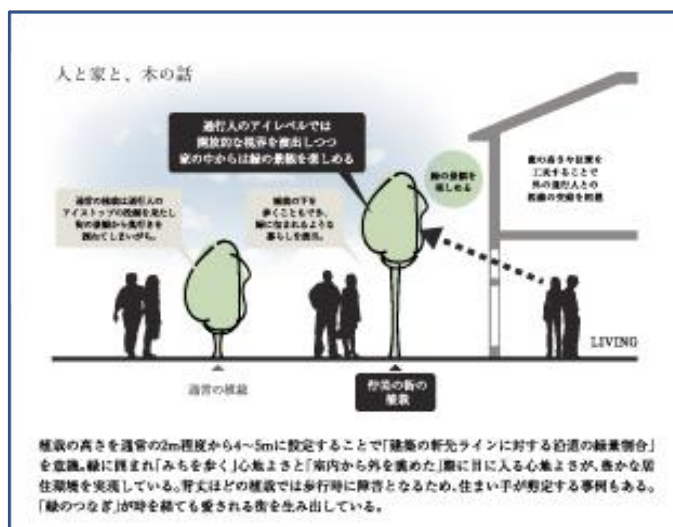
「佇美(たび)の家」街並み

- 植栽計画はエクステリアデザイナーと共同で計画しています。植栽の高さを通常の 2m から 4~5m に設定することで、歩行者のアイレベルでは開放的な視界を演出しつつ、家の中からは緑の景観を楽しめるようにしています。緑被率にも配慮しています。高木は、シマトネリコやアオダモなどです。

また花台や花壇を街並みのポイントに配置しており、住民同士のコミュニケーションのきっかけを作る仕掛けもしています。

- 住まう方と近隣住民が夜間でも安心して過ごせるよう、分譲地の住民がガイドラインに沿った協定に基づき、街全体で常夜灯を自動点灯します。これによって地域のランドマークともなる連続性のある夜間景観を生み出します。ポラスグループでは、2004 年からこの取り組みを始めていますが、16,000 戸以上の分譲住宅に採用されています。

- 落ち着いた色調の建築に、フレームや門柱でアクセントを施し、建物とエクステリアが一体となった情景を創り出しています。



常夜灯点灯による夜の街並み

<物件概要>

所 在: 千葉県市川市菅野

棟 数: 全 16 棟

土 地: 104.60 m²(31.64 坪)~110.52 m²(33.43 坪) 建 物: 95.43 m²(28.81 坪)~108.90 m²(32.87 坪)

本件に関するお問い合わせ先

ポラスグループ ポラス(株)コミュニケーション部 広報課
TEL: 048-989-9151 FAX: 048-987-2672